

# 「里のほほえみ」の

種子大豆生産者の皆さんへ

# べと病・紫斑病の防除を徹底しましょう

アミスター20フロアブルは、  
30年産は使用可

**べと病**は病気に罹った茎葉などで伝染します。また、冷涼で雨が多いときに発生します。葉や子実  
に発生が見られ、子実に発生すると被害粒（病害粒）となりますので丁寧な調整等で除去しましょう。

**紫斑病**は病気に罹った茎葉や種子で伝染します。種苗法の指定種苗の生産等に関する基準において  
は、混入していないこととなっていることから、防除体系を徹底しましょう。

## 防除等のポイント

### べと病防除（裏面の表1参照）

- 多発した圃場で連作は避けて下さい。
- 過繁茂で風通しが悪いと発病しやすいため、密植や早播きを避けましょう。
- 開花10日前～子実肥大期に薬剤防除して下さい。
  - ・開花前に発生した場合は、茎葉に農薬を散布して下さい。
  - ・開花後の早い時期に農薬を散布して下さい。
  - ・発生が拡大する場合は、開花40日後までに追加防除をして下さい。



べと病（左：葉、右：子実【出典：栃木県農業環境指導センター】）

### 紫斑病防除（裏面の表2参照）

- 多発した圃場では、秋耕を行い罹病した植物残渣を土中に埋めて下さい。
- 必ず種子消毒を行って下さい。
- 開花後に必ず薬剤散布を行って下さい。
- アミスター20フロアブルは、隔年使用として連用は避けて下さい。なお、種子栽培においては、23年産から隔年使用（23・25・27・29年産使用不可）としております。
- 薬剤の散布は最低2回とします。その際、1回目と2回目は異なるグループ（RACコード）の薬剤を使用して下さい。
- 散布時期は開花15～35日後とし、1回目散布はこの期間の早い時期に行いましょう。
- 収穫後乾燥せずに数日間放置すると、紫斑粒率が増加するので、収穫後は速やかに乾燥しましょう。



紫斑粒

## 品質向上対策及び品質目標

### 品質向上対策

- 播種適期は6月15日～7月5日です。
- プライソラー等による心土破碎により排水対策を行いましょう。
- ハスモンヨトウ、カメムシ類、マメシキイガ等の病害虫に注意して下さい。
- 収穫前に青立ち株や雑草を除去しましょう。
- 着色粒や腐敗粒、褐斑粒は特に注意して選別して下さい。
- しわ粒が多かったり、過乾燥の状態で選別するとはく皮粒が発生しやすいので注意しましょう。

### 品質目標

調製篩い目	7.9mm
篩上の割合	98%
発芽率	95%
水分	13.5%

栃木県・全農とちぎ・種子場農業協同組合・(公社)栃木県米麦改良協会

**表1** **べと病防除に使用できる主な薬剤**（登録内容は平成30年6月4日時点）

農薬名	希釈倍率	使用方法	使用時期	成分	RACコード
ランマンフロアブル	1,000～2,000倍	散布(100～300L/10a)	収穫7日前まで	シアゾファミド	F：21
アミスター20フロアブル※①	2,000倍	散布(100～300L/10a)	収穫7日前まで	アゾキシストロビン	F：11
ベトファイター顆粒水和剤	2,000～3,000倍	散布(100～300L/10a)	収穫7日前まで	シモキサニル	F：27
				ベンチアバリカルブイソプロピル	F：40
フェスティバルC水和剤	600倍	散布(100～300L/10a)	収穫7日前まで	ジメトモルフ	F：40
				銅	F：M1
プロポーズ顆粒水和剤	1,000倍	散布(100～300L/10a)	収穫21日前まで	ベンチアバリカルブイソプロピル	F：40
				TPN	F：M5
リドミルゴールドMZ	500倍	散布(100～300L/10a)	収穫45日前まで	マンゼブ	F：M3
				メトラキシルM	F：4
撒粉ボルドー粉剤DL	4kg/10a	散布	—	銅	F：M1

**表2** **紫斑病防除に使用できる主な薬剤**（登録内容は平成30年6月4日時点）

農薬名	希釈倍率	使用方法※②	使用時期	成分	RACコード
<b>(種子消毒に使用する薬剤)</b>					
クルーザーMAXX	原液	塗沫処理	播種前	チアメトキサム	I：4A
				フルジオキシニフル	F：12
				メトラキシルM	F：4
ベルコート水和剤	—	種子粉衣	播種前	イミノクタジン	F：M7
キヒゲンR-2フロアブル	乾燥種子1kg当たり原液20mL	塗沫処理	播種前	チラウム	F：M3
ゲッター水和剤	乾燥種子重量の0.5%	種子粉衣	播種前	ジエトフェンカルブ	F：10
				チオファネートメチル	F：1
<b>(生育期に使用する薬剤)</b>					
アミスター20フロアブル※①	2,000～3,000倍	散布(100～300L/10a)	収穫7日前まで	アゾキシストロビン	F：11
	16～24倍 (液量800mL/10a)	無人ヘリ			
マネージDF	3,000倍	散布(100～300L/10a)	収穫30日前まで	イミベンコナゾール	F：3
	24倍(液量800mL/10a) 48倍(液量1.6L/10a)	無人ヘリ			
サンリット水和剤	1,000～2,000倍	散布(100～300L/10a)	収穫14日前まで	シメコナゾール	F：3
ベルコートフロアブル	1,000倍	散布(100～300L/10a)	収穫7日前まで	イミノクタジン	F：M7
	6倍(液量0.8L/10a) 12倍(液量1.6L/10a)	無人ヘリ			
Zボルドー	500倍	散布(100～300L/10a)	—	銅	F：M1

※①アミスター20フロアブルは、耐性菌が発生しやすいので隔年使用（30年産は使用可）

※②散布と無人ヘリが併記された薬剤は両方に登録があるので、希釈倍率を確認して使用してください。

**薬剤は購入前に使用方法・使用時期を確認し、使用前に必ずラベルよく読み、正しく使用しましょう**

**大豆子実の病害虫防除の徹底に努めましょう**

※防除方法等は「農産物等病害虫雑草防除指針」及び「優良種子生産の手引き(大豆)」を参照ください。